

令和7年2月21日 下水道事業運営審議会

ウォーターPPPの導入 について

米子市上下水道局下水道整備課 伊藤聡

目次

1 ウォーターPPPって何？

2 ウォーターPPPの良さ



ドクターマンホール

1-1 ウォーター P P P とは

○ウォーター…水
下水道、上水道、工業用水道が対象

○P P P…Public Private Partnership
公共 民間 仕組み、連合体

ウォーター P P P とは、
下水道分野における官民連携手法のこと

1-2 下水道のウォーター P P P

長期契約で管理と更新を一体的にマネジメントする手法のこと



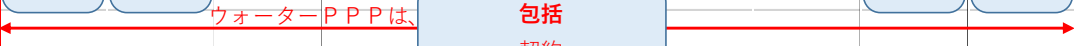
管理の一例（点検状況）



更新（施工状況）

1-3 長期契約ってどのくらい？

長期契約は、10年間
従来方法は、1年間（年度毎）

	作業項目	令和 n年度	令和 n+1年度	令和 n+2年度	令和 n+3年度	令和 n+4年度	令和 n+5年度	令和 n+6年度	令和 n+7年度	令和 n+8年度	令和 n+9年度
管理	点検 清掃 小修繕	個別 契約 1年間	個別 契約 1年間							個別 契約 1年間	個別 契約 1年間
更新	設計 改築										

1-4 その他の特徴

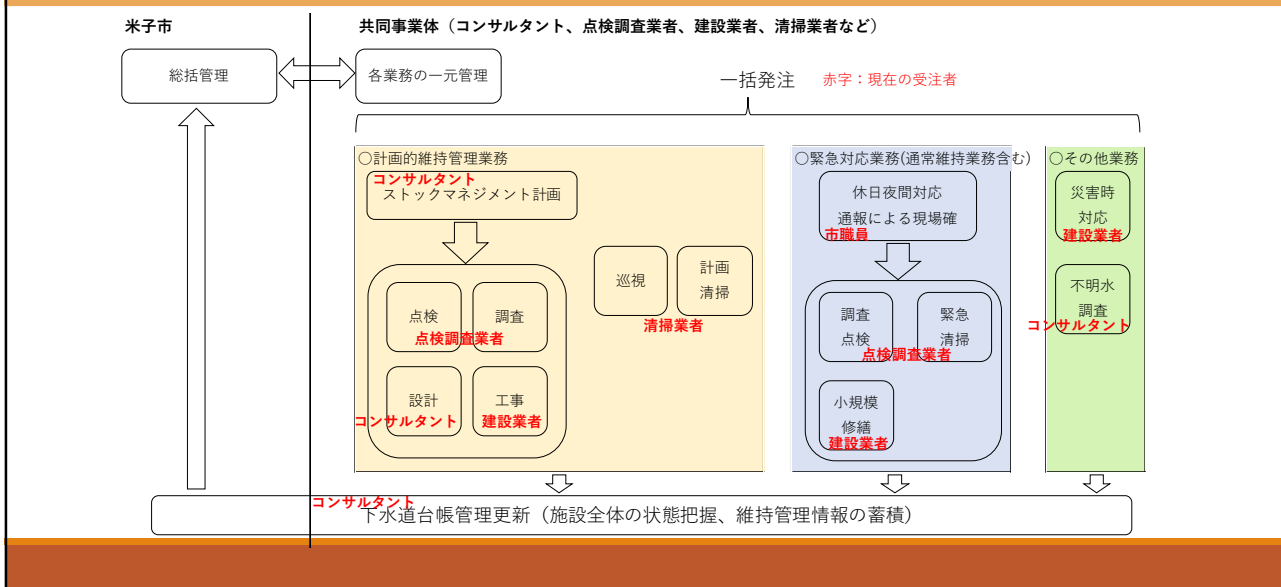
- 性能発注**：具体的に実施場所や数量等を指定しない。
例：加茂町地内の下水管路の清掃100m



下水管路が詰まらないよう清掃すること

- プロフィットシェア**
契約時に見積もった工事費等が、企業努力等で縮減した場合、縮減分を市と業者でシェアする。

1-5 米子市の業務体制はどうなるのか



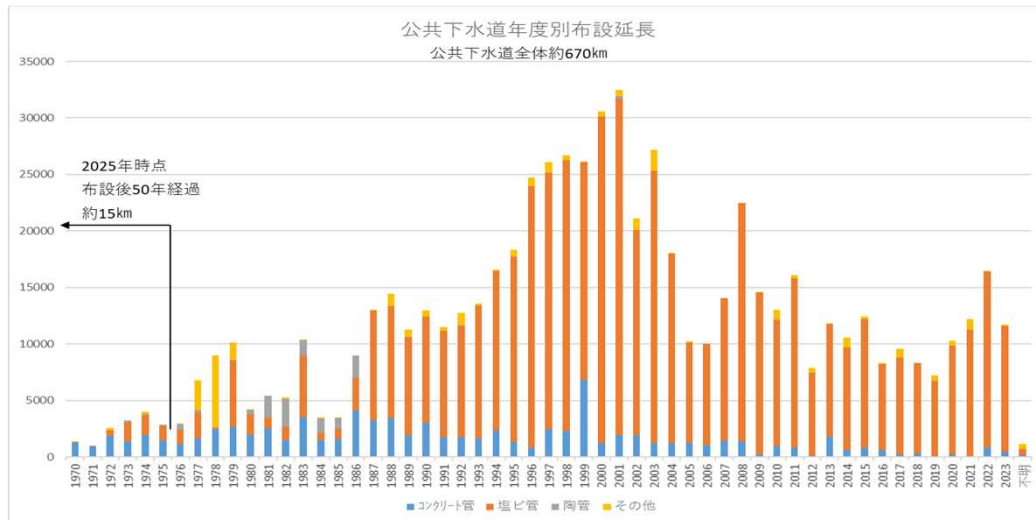
2-1 ウォーターPPPの良さ

課題

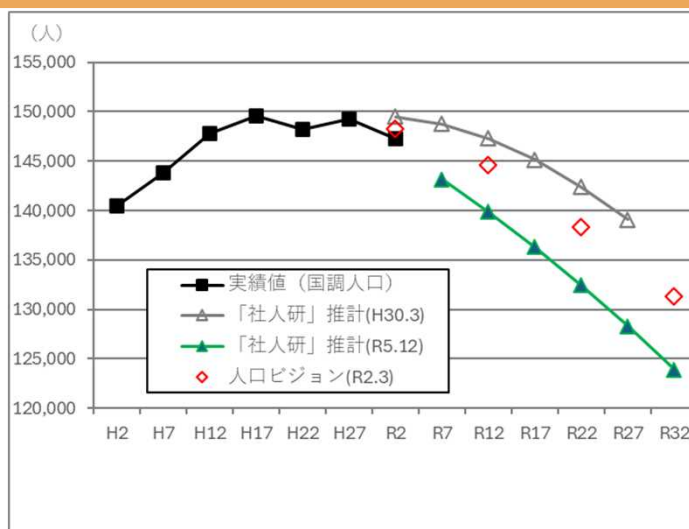
- 職員不足
- 施設の老朽化
- 使用料収入の減少

課題を解決し、**下水道事業の持続性を向上させるために有効**であること。

2-2 施設の老朽化について



2-3 人の課題について



米子市の将来推計人口

人口は減少する見込み

- ・技術者の減少
- ・使用料収入の減少につながる。

2-4 なぜ課題解決に有効なのか

民間事業者のノウハウ（経営手法や技術、アイデアなど）等を最大限活用。

- 新技術・設備投資（人材含む）がしやすい
- 維持管理データの収集整理が効率的
- 単一業務・単年契約に比べコストが縮減（スケールメリット） など

2-5 課題の解決に向けて

○職員不足

→複数業務を一括して10年契約とすることで事務負担が減少し、これまでより少ない職員で事業執行が可能になる。

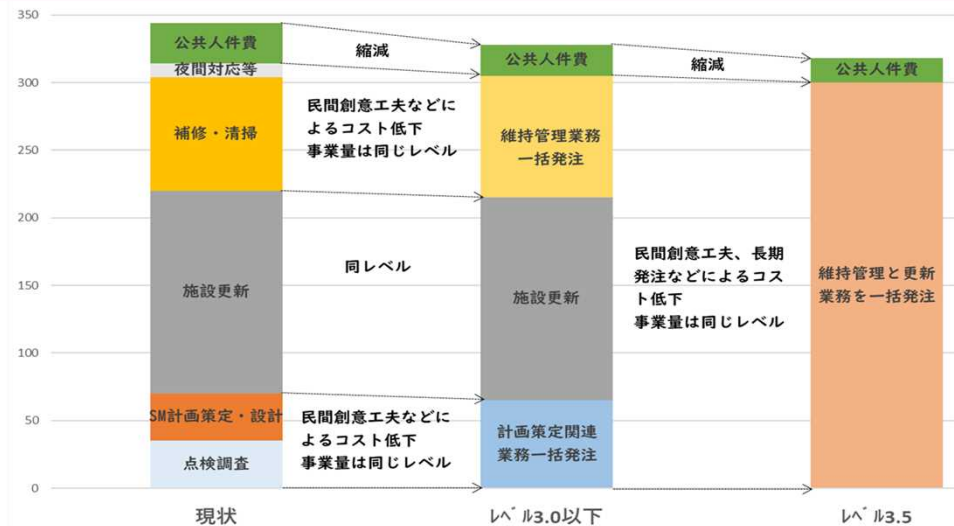
○施設の老朽化

→新技術、維持管理データの活用などにより、予防保全型維持管理を効率的に行える。

○使用料収入の減少

→スケールメリット、民間の経営手法、技術等の活用によりコストを縮減できる。

2-6 コスト低下のイメージ



2-7 ウォーターPPP導入にあたって 導入にあたって

- 市職員の技術力低下を防ぐ
- 事業者等との調整

2-8 市職員の技術力

○市職員の技術力低下

設計積算業務、現場監督業務が縮小することで、技術力が低下する恐れがある。

【解決策】

受注業者任せではなく、定期的な現場臨場の機会を設ける、また技術研修に参加するなど。

2-9 事業者との調整

○事業者等との調整

これまでの発注形態から、10年間の長期契約へと発注形態が変わることや、土木、電気などさまざまな業種が一緒になることから、事業者理解を得ながら調整する必要がある。

【解決策】

マーケットサウンディング等を行い、事業者の意見をよく聞き、導入検討に反映する。

最後に

ウォーターPPPという手法を用いて、
持続可能な下水道事業を目指します。

